

～1ターンでトマト農家に～ 辻本 京子さん（西予市）

マイネット（西予市女性農業者組織） 会長 1953 年生まれ
遊子川もりあげ隊 特産品開発班（ザ・リコピズ） 班長
ホームページ <http://yusukawamoriagetai.com/>



☆経営概況☆

夫婦でトマト（20a）の栽培に取り組む傍ら、トマトオーナー制度、農家レストラン「食堂ゆすかわ」の運営、トマトゆずポン酢の製造・販売に携わり、地域リーダーとして活躍しています。

☆ここがポイント☆

■知人のお誘いがあったからこそ！

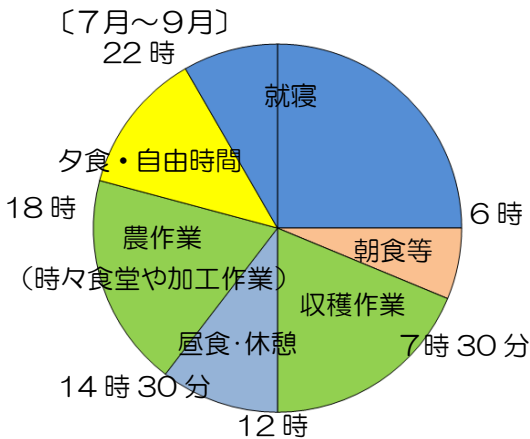
自分を取り巻く環境にいろいろと状況変化があって、人生の後半は農業でゆっくりと過ごしたいなと思っていたところ、愛媛の知人が「遊子川に来ないか？」って声をかけてくれました。

そこで、いい機会と思い、**奈良県から移住**することを決心しました。

■農業のいいところって？

農業を知らないから、就農できた部分はあると思います。7月～9月はトマトの出荷ですごく忙しいです。でも**農業で1日が終わって**の「あーしんどい」は、勤めていたころの「あーしんどい」とは全然違います。笑顔で「しんどかった～」「疲れた～」って言える**充実感があります**。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

2月～4月は土づくりやハウスの準備、5月～6月は定植・苗の管理、7月～9月は繁忙期で毎日トマト収穫、休みはほとんどありませんが、10月～11月は隔日制の収穫となり、12月はハウスの片付けを行います。12月末～1月末は故郷の奈良へ帰省し、冬休みとなります。夏休みがない分、冬休みを長めに取り温泉巡りなどを行っています。また農作業と並行して、地域活性化のため遊子川もりあげ隊の「ザ・リコピズ」の活動も行い、農家レストランやトマトゆずポン酢などの加工作業も行います。

繁忙期以外は週に1～2回、買い物や自由時間（趣味の釣りや温泉など）に充てています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	7月から9月末まで基本的に休みなし					



☆これからの夢や目指すもの☆

■農産物の加工をやっていききたい！

毎日のように廃棄される1、2割の規格外トマトが、もったいないのでどうにかできないかと思っていました。加工品を作る仲間を探していたところ、些細なきっかけから遊子川地域活性化プロジェクトの一環で、加工品開発するようになり、**トマトゆずポン酢の製造・販売**に取り組むこととなりました。これからも農産物のロスが出ないように、地域の仲間とともに加工品の製造販売に挑戦していききたいと思います。

☆メッセージ☆

■農業における女性の役割について

農業を新たに始めるには女性が腰を上げないと、男性だけではダメになることが多く、やはり**女性の力が必要**だと思います。男性と女性は能力が違う。けど、その違いを上手く利用して、それぞれが協力して農業をすることが大切だと思います。